



外国出張報告書

平成 26 年 3 月 30 日

1. 出張国名 フィリピン

2. 出張月 平成 26 年 3 月

3. 出張目的 リン酸利用効率に関する遺伝生理学的要因の解明と
 その育種利用等に関する視察及び共同研究の準備のため：B

4. 成果の概要

リン酸利用効率に関するゲノムワイドアソシエーション解析(GWAS)から得られた候補領域内の遺伝子発現解析の実験解析結果について、IRRI の共同研究者とディスカッションを行った。

リン酸の種子への取り込みに関与する遺伝的要因やリン酸利用効率に関する遺伝子の同定のために GWAS を行う予定であるが、温室で水耕栽培した多検体のイネ幼苗から表現型データの収集および分析方法を確立した。

また、現地のリン酸欠乏圃場 (Pangil) を訪問し、イネの表現型(バイオマス・草丈等)を調査した結果、リン酸欠乏圃場のデータも有効であると判断した。